

# 学校だより

小川中学校

No. 9

平成26年6月26日

文責：校長 佐藤正則

## いわき市中学校体育大会 バドミントン男子団体県大会へ 男子シングルスの若松君も県大会へ

6月13日から始まった今年度の大会が19日終了し、男子バドミントン部が団体で2位、シングルスで若松樹也君が3位に入賞し、総合大会では初の県大会出場を勝ち取りました。とても良かったです。おめでとうございます。

どの部も、たとえ力の差があっても、決して諦めることなく戦いましたので、応援にも大変、力が入りました。

心情的には、どの部にも勝たせたかったのですが、そうもいきません。勝つも負けるも勉強です。すべてに理由があります。勝敗を分けた理由をしっかりと振り返り、これからの生活に生かしていくことが大切です。生かしていける人が成長できるのです。努力するほど勝つチャンスが大きくなることだけは確かです。

多くの3年生は、この大会で部活動引退となりますので、家族をはじめ多くの人々の支えがあって活動できたことに感謝しつつ、進路実現という負けられない戦いに向け、反省を生かして力強く歩み出してほしいと思います。

大会には、高木体文会長はじめ多くの保護者の皆さんが応援に来てくださいました。お忙しい中、ありがとうございました。

### 各部の大会結果

野球部：1回戦敗退  
男子バスケ部：1回戦敗退  
女子バスケ部：1回戦敗退  
男子ハンド部：3戦3敗  
女子テニス部：団体1回戦敗退  
個人1ペア、3回戦進出  
女子バド部：個人2回戦敗退



# 評価と評定

「評価」と「評定」は似たような言葉で、一般には同じように受け取られていますが、学校では全く違う意味で使っています。表示の仕方も「評価」は「A、B、C（通知票ではAがO、B、Cは無印）」、「評定」は「5、4、3、2、1（これは通知票も同じ）」となります。

## ★「評価」と「評定」の関係は？

始めに「評価」を行い、学期ごと及び年間を通じて評価内容を総括して数値化したものが「評定」です。ですから「評定」は「評価」が基になっているのです。



「評定」は「評価」が基になっている



「評価」ができないと「評定」ができない

## ★「評価」、「評定」の仕方は？

### ●「評価」の仕方について

現在、学校で行っている評価は「絶対評価」というものです。これは平成13年度にそれまでの相対評価から切り替わったものです。ですから、保護者の皆さんが在学中にはなかった評価方法です。

人と比べるのではなく、本人が勉強の内容をどれだけ分かったか、ということ

### 絶対評価

一人ひとりの学力が、学習目標にどれだけ近づき、内容を理解できたかを基準とし、その達成度をA、B、Cの3段階で判定するもの。

A…十分満足できると判断されるもの

B…おおむね満足できると判断されるもの

C…努力を要すると判断されるもの

学力を判断する学習目標は、国語以外はどの教科も次の4つの観点で判断します。

1. 関心・意欲・態度 2. 思考・判断・表現 3. 技能 4. 知識・理解

※国語は5観点(関心・意欲・態度、話す・聞く能力、書く能力、読む能力、知識・理解・技能)

1. 関心・意欲・態度…主に授業中の反応、行動の様子の観察を通じて授業外での行動(提出物、自主学習の中身、質問行動など)を通じて
2. 思考・判断・表現…授業中の発言、ノートやレポート、作品の内容などを通じて
3. 技能…授業中に観察できる実際の技能を通じて

観点の4以外は、主にテスト以外の資料で評価していますよ。

「評価」は日々の授業を通じて行うもの  
※授業に出ないと評価ができない(または不十分になる)

### ●「評定」の仕方について

「評価」の4つの観点のA、B、Cを点数に換算(Aを3、Bを2、Cを1)し、合計点が全体に占める割合で決めています。

「5」は84%以上で、「4」は75~84%、「3」は55~75%、「2」は40~55%、「1」は40%未満として評定します。ですから、通知票の観点別の「O」の数が重要な意味を持っているのです。無印は、BかCです。

テストの点数が良くても、評定があまりよくないということも起こります。

